

スーパーグローバル大学(※SGU)を紹介するシリーズの第2回目は、東洋大学。
竹村牧男学長にグローバル人材輩出にかける想いを聞いた。

アジアのハブ大学を目指して



【東洋大学概要】

所在地：〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
在籍：3万484人(2016年5月現在)
設立：1887年
創立者：井上円了

たけむら まきお

東洋大学 学長 竹村牧男

— そのための具体的な施策とは？

全学共通の学部横断的な基盤教育の枠組み・考え方として、まず「哲学・思想」。これは建学の理念に基づくもので重要です。次に「学問の基礎」。人文・社会・自然科学の基本を学びます。さらにグローバル人材の育成に必要な一般教養として、「国際人の形成」という枠組みをつくりました。日本の伝統文化を重視するとともに、海外インターンシップ、ボランティアなど異文化交流を実際に体験する科目を充実させています。

学生はダイヤモンドの原石

— 東洋大学は今年で創立130周年を迎えます

1887(明治20)年に哲学者・井上円了が創立した「私立哲学館」が始まりです。時代が江戸から明治へと移り、近代化が進み始めた時代ですね。

— 建学の理念「諸学の基礎は哲学にあり」とは？

井上円了は、「新しい時代を生きる日本人にとって哲学は知性向上の根本になる」と考え、「哲学すること」の重要性を訴えました。様々な学問の根底にあるのが哲学です。古今東西の哲学を学びつつ、先入観や偏見にとらわれることなく、自ら考える訓練の場となることを目指しています。

— SGU構想について

「TOYO GLOBAL DIAMONDS グローバルリーダーの集うアジアのハブ大学を目指して」という構想の「DIAMONDS」には2つの想いを込めました。1つは、ダイヤモンドの原石である学生を、輝きを放つグローバル人材に磨き上げること。もう1つは、全学のグローバル化を推進し、グローバル人材の構造をピラミッド型から中間層の厚いダイヤモンド形へと変革することです。

“Toyo Global Leader”を認定

— 英語教育はどのように？

英語による授業の占める割合は10%弱ですが、最終的には20%程度にまで引き上げたいと考えています。また、英会話学校の先生が常駐し授業の合間に毎日40分、少人数でレッスンを受けることができます。ランゲージセンターでは個別の英文ライティング指導を行っており、気軽に英語に触れることのできるスペースも設けました。TOEICの受験料も大学が全額負担し、レベルアップへの支援を整えています。最近では本学がSGU採択大学であると認識して志願してくる意欲の高い学生が増えています。入学してから一念発起してTOEICのスコアが何百点も上がったという学生もいます。

“Toyo Global Leader(以下TGL)”プログラムもスタートしました。「異文化環境における英語運用表現能力」、「文化的な価値創造能力」、「異文化環境における課題解決能力」という3つの要素の強化を目的として、「Gold」、「Silver」、「Bronze」